

試験報告書

依頼者 株式会社 セーナライン

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 KING WATER

表 題 除菌効果試験

2021 年 11 月 01 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

除菌効果試験

1 依頼者

株式会社 セーナライン

2 検体

KING WATER

3 試験概要

検体に試験菌液を接種後(以下「試験液」という。), 所定時間後に試験液中の生菌数を測定した。また, あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い, 検体の影響を受けずに生菌数を測定できる条件を確認した。

4 試験結果

結果を表-1, 試験条件を表-2に示した。

なお, 試験液をSCDLP培地で希釈する中和条件により, 検体の影響を受けずに生菌数の測定ができることを確認した。

表-1 試験液の生菌数測定結果

試験菌	対 象	生菌数 (/mL)		
		開始時	1分後	5分後
大腸菌	検 体	—	<10	<10
	対 照	9.1×10^5	—	8.8×10^5
大腸菌 (O157:H7)	検 体	—	<10	<10
	対 照	5.0×10^5	—	5.9×10^5
緑膿菌	検 体	—	<10	<10
	対 照	7.7×10^5	—	6.7×10^5

<10 : 検出せず

保存温度 : 室温

表-2 試験条件

試験菌液	試験菌	① <i>Escherichia coli</i> NBRC 3972(大腸菌) ② <i>Escherichia coli</i> ATCC 43895 (大腸菌, 血清型O157:H7, ペロ毒素 I 及び II 型産生株) ③ <i>Pseudomonas aeruginosa</i> NBRC 13275(緑膿菌)
	試験菌①～③ 前培養：普通寒天培地[栄研化学株式会社], 35℃±1℃, 18～24時間 菌液調製溶液：精製水 菌数：10 ⁷ ～10 ⁸ /mL	
試験液	検体10 mLに試験菌液0.1 mLを接種	
保存条件	1分, 5分 (室温)	
中和条件	SCDLP培地[日本製薬株式会社]で10倍希釈	
対照	試験菌①～③：精製水	
生菌数測定	SCDLP寒天培地[日本製薬株式会社], 混釈平板培養法	35℃±1℃, 2日間

以 上